

～ 元旦歩こう会へのお誘い ～

副会長 2) 片岡三男

大晦日の紅白歌合戦の余韻の残る中、元旦早朝 5 時に赤坂を出発。桜台を下り、根方街道で他の自治会の人並と合流。赤坂の団旗を先頭に、知り合い・友達・親子で胸の内を語らいながら、烏谷の交差点を柳沢方面へ。この辺りで寒さはピークになり、それでも寒さに耐えながら辛抱強く歩いていると、やがて柳沢の公会堂へ。ここでトイレ休憩を済ませ、最大の難所である山道の入り坂へ向かう。気合を入れ、つづら折りの山道を登り始めるころには空は白みはじめ、東名を横目に見ながら、道を譲る人・健脚を競う人・各々が思いのまま赤野観音を目指す。疲労がピークにさしかかるころ、やっとの思いでようやく到着。



万感の思いの中、ダルマ抽選券をもらって、境内へ。無病息災を願い参拝の後、新年の愛鷹スタンプ、甘酒をごちそうになりながら鐘を突き、たき火で暖をとる。やがて、お神酒が振る舞われ、7 時の日の出とともに集まった人達が全員で万歳三唱。幸運にもダルマに当選した人は意気揚々と幸先のいい新年を迎えることになる。考えてみれば、今歩いてきた分をまた歩かなければ自宅には戻れないことに気づきながらも、自宅での家族との新年のあいさつ・おせちの舌鼓みに思いは巡り、全行程 8 km の帰路はどことなく軽やか。

亡くなった義父に連れられ、来年で 22 回目の参加となる。当時 6 歳で元旦歩こう会にデビューした息子たちも、それぞれ達成感を味わっていたようである。私にとって元旦歩こう会は、義父・息子たちと歩いた思い出の恒例行事であり、また、我が家に年神様をお迎えする厳かな儀式でもある。来年は三役としての大役を担った参加であり、近隣の自治会が羨むくらい大勢の皆さんと一緒に参加できればと願っている。

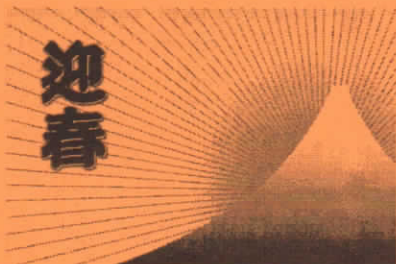
赤野観音から一緒にご来光を拝みましょう。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

以上

回 覧

平成27年11月13日



第 4 7 回 愛 鷹 地 区 元 旦 歩 こ う 会

元旦歩こう会は、昭和44年に愛鷹地区の体育活動が、沼津朝日新聞社の「第12回 沼津朝日賞」を受賞したことを記念して始まりました。この行事も、今回で47回を迎える事になりました。皆さんとともに、愛鷹の文化財“赤野観音”で初日の出を一緒に迎えましょう。

- 1、期 日 平成 28年 1月 1日 (金) (雨天の場合は2日)
- 2、場 所 柳 沢 赤野観音
- 3、集 合 午前 6時30分、各自治会ごとに赤野観音集合
- 4、主 催 愛鷹地区コミュニティ推進委員会
- 5、主 管 愛鷹地区体育委員会

※ 境内において甘酒・記念スタンプ・鏡開きなどを行います。

